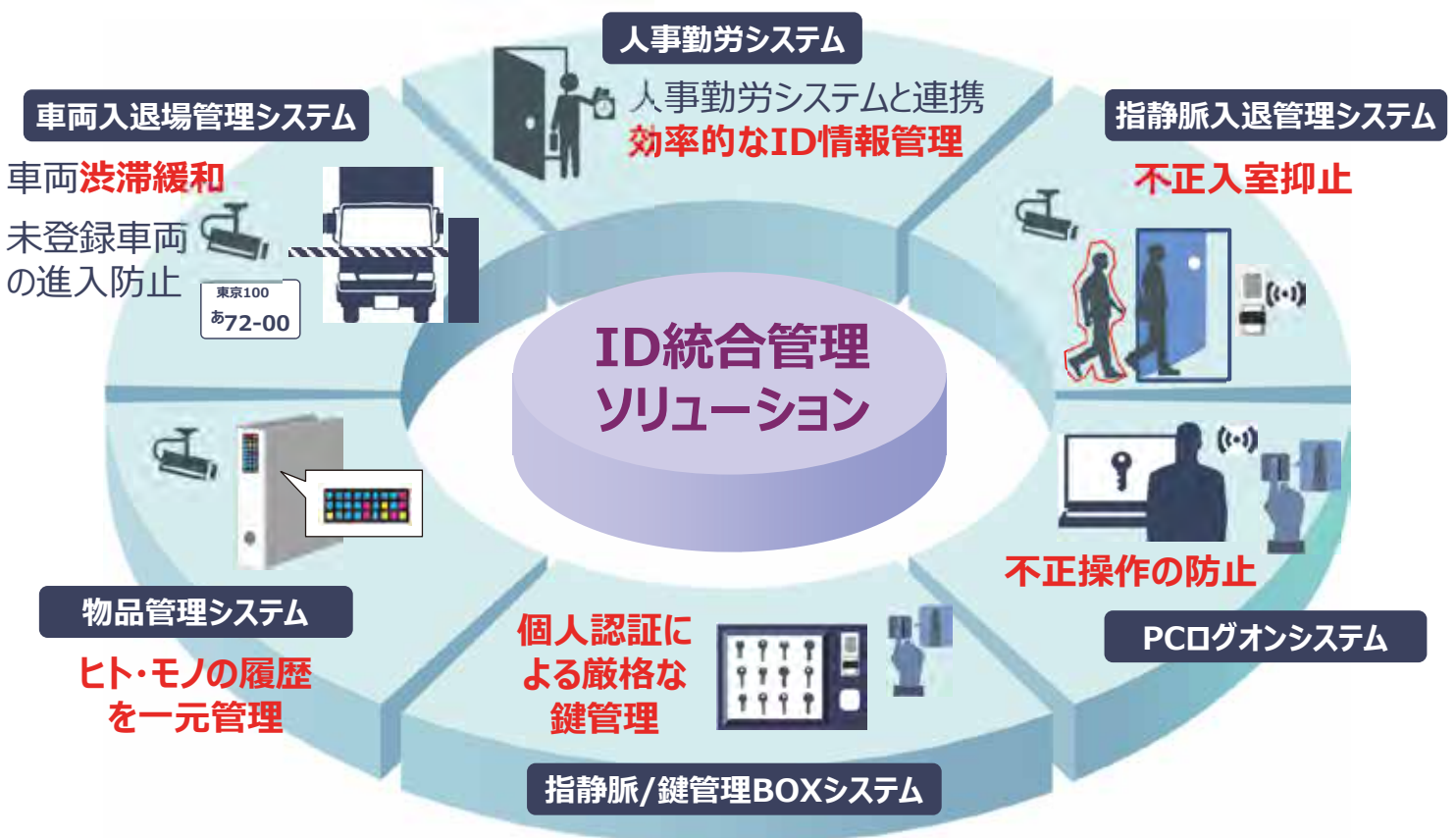
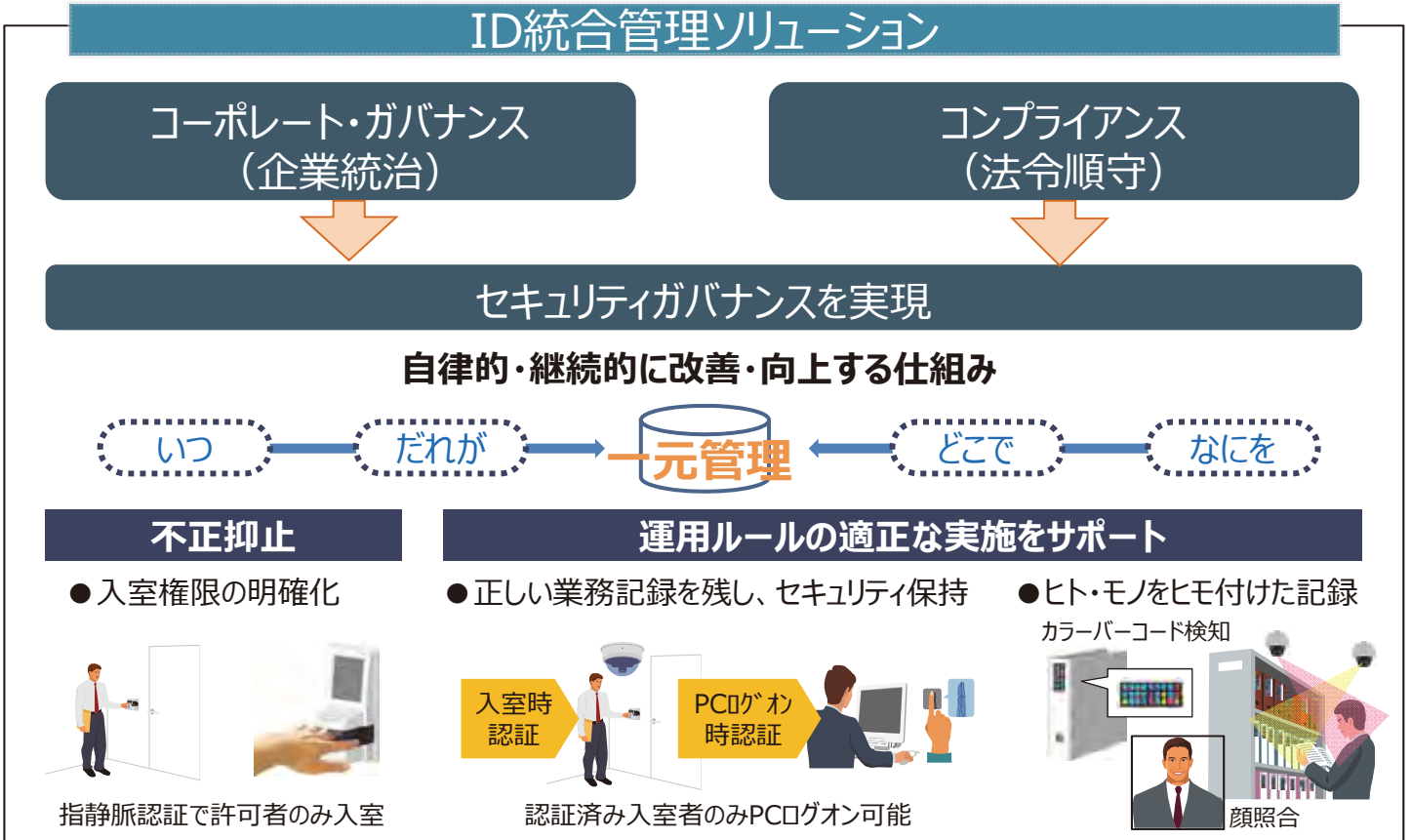


セキュリティガバナンスを実現し、守る意識を向上

ID統合管理ソリューション

セキュリティ確保には、セキュリティガバナンスを実現する仕組み作りが重要
ヒト、モノに付与するIDとその履歴（ログ）を一元管理



ID統合管理ソリューション

株式会社 日専連旭川さま 事例紹介

指静脈入退室管理システム

防犯カメラシステム

システムの組み合わせは変更可能

セキュリティ強化によるIDカード（社員証）紛失リスク対策や意識改革

株式会社 日専連旭川さまは、大切なお客さまの情報を守るためセキュリティの強化に取り組まれています。なかでも、侵入や持ち出しによる情報漏えいへの対策として入退室管理を厳格化するため、「指静脈認証による通行管理」と「認証時の映像記録」の連携システムを導入いただきました。

【システム紹介】指静脈による入退室管理と映像記録の連携

特長1 連携による管理強化

入退室 + 録画記録 + 管理端末

指静脈による生体認証
生体内部の指静脈パターンを利用して個人を特定する生体認証です。偽造が極めて困難、認証精度が高いなどの特長があります。

特長2 IDカードを持ち出さない運用

(概念例:平面図)

入口 執務室 高セキュリティ室

IDカードを使用する機会が室内のみ
→持ち出す必要がなく
紛失のリスク低減

- セキュリティ高 : 指 and IDカード + 防犯カメラ
- セキュリティ通常 : 指 or IDカード + 防犯カメラ

システム構成例 [指静脈入退室管理にカメラとPCログオンを連携]

特長:

- ① 入退室管理とPCのログオン認証は、共通のIDと指静脈情報で認証が行われ、管理コストを低減します (ID統合管理)
- ② 入退室時の映像を入退室履歴(ログ)から連動して呼び出し、映像による状況把握が簡単にできます (映像連携)
- ③ 各種セキュリティ機器の履歴(ログ)を統合プラットフォームが一元管理することで組織内の状況をモニタリングします (内部統制強化)



履歴の表示例 【入退室履歴に連動するPCログオンの事例】

No	発生日時	氏名	ID番号	履歴種別	状態	場所	操作端末
1	10:24	利用者A	0010007	入退履歴	入室	事務室	指静脈認証端末014
2	10:30	利用者A	0010007	操作履歴	PCログオン	事務室	管理パソコン001
3	11:20	利用者A	0010007	操作履歴	PCログオフ	事務室	管理パソコン001
4	11:22	利用者A	0010007	入退履歴	退室	事務室	指静脈認証端末015
...
10	13:18	利用者A	0010007	操作履歴	PCログオンエラー	事務室	管理パソコン001
...

(履歴の活用方法)

利用者Aは管理パソコン001にログオンできなかったことから事務室に共連れで入室した可能性があることが読み取れる (ルール:入室の履歴がない者はPCログオン禁止)

➡ **ルール遵守状況を把握し
教育へフィードバック**

●記載されている内容は2019年3月現在のものです。予告なく内容を変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●本ソリューションは法人のお客さまを対象としています。個人のお客さまは対象外とさせていただきます。

本ソリューションに関するホームページは下記URLをご参照願います。
<http://www.hitachi-ics.co.jp/product/pss/index.html>